

新宿区の「地球温暖化対策」について  
～3・11後のエネルギー戦略として～

2011年11月1日

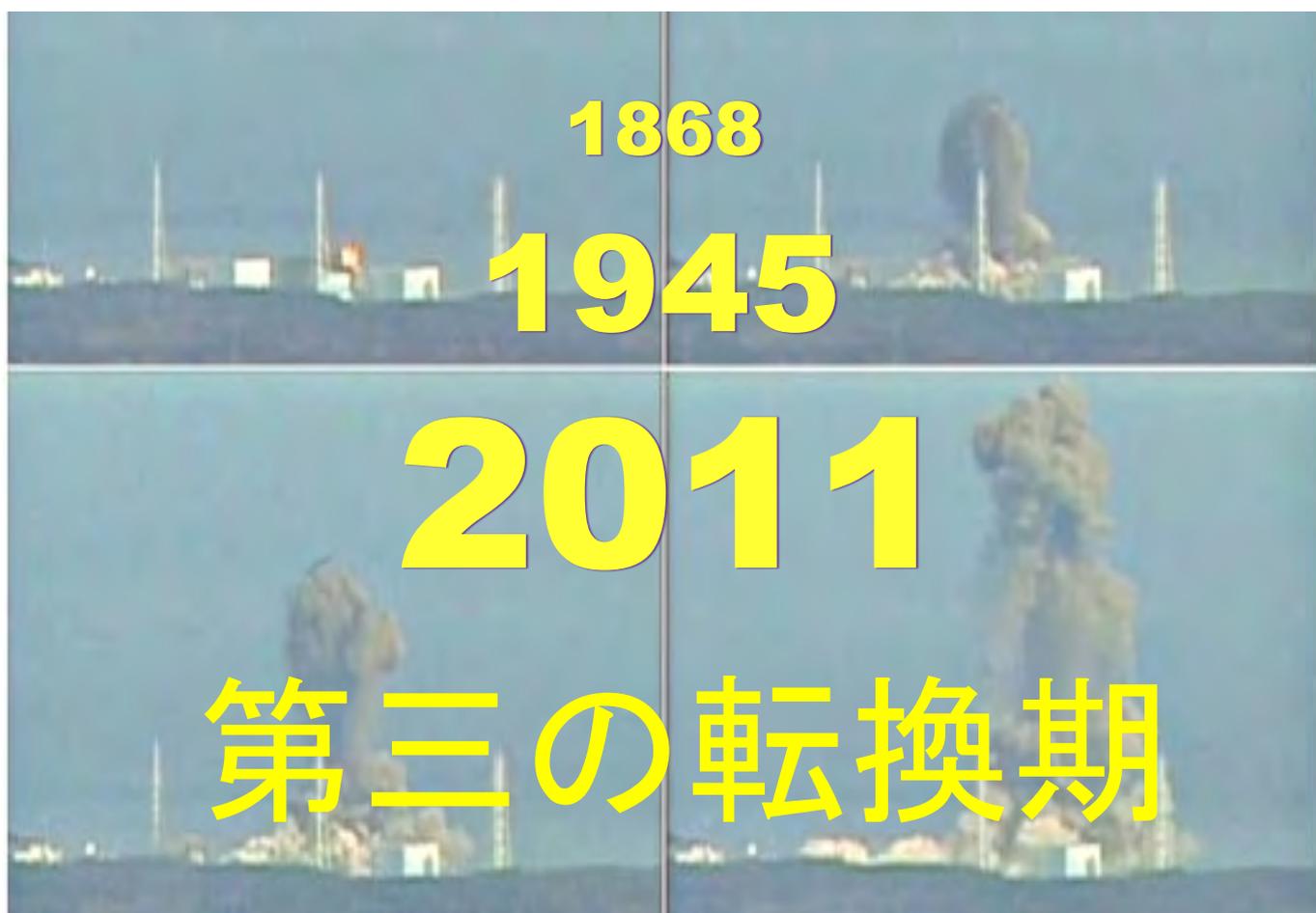
飯田哲也 (いいだ てつなり)



環境エネルギー政策研究所



環境エネルギー政策研究所



# エネルギー政策のパラダイム・チェンジ

1950年代：高度成長

→ 脱石炭・石油転換

1970年代：脱石油・脱公害

→ 原発・天然ガス

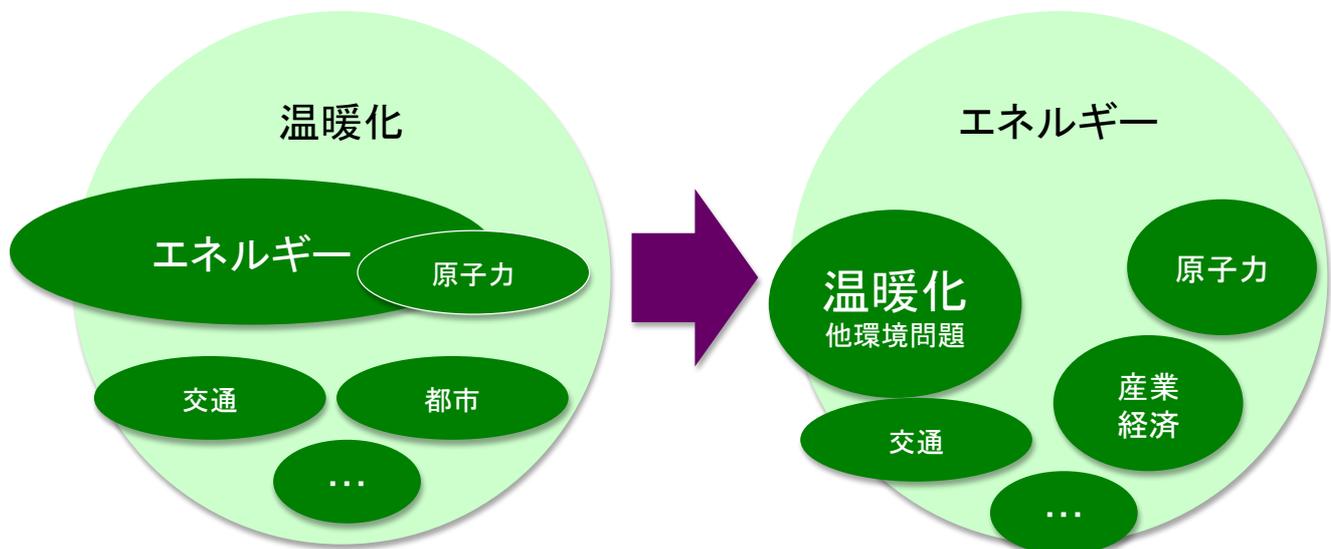
1990年代：規制緩和・地球温暖化

→ 原発傾斜・新エネ失敗

3・11以降の新しいパラダイムへ

## カーボン・フラットランドの終わり

温暖化 > エネルギーからエネルギー > 温暖化へ



# 3・11以降の新しいパラダイムへ

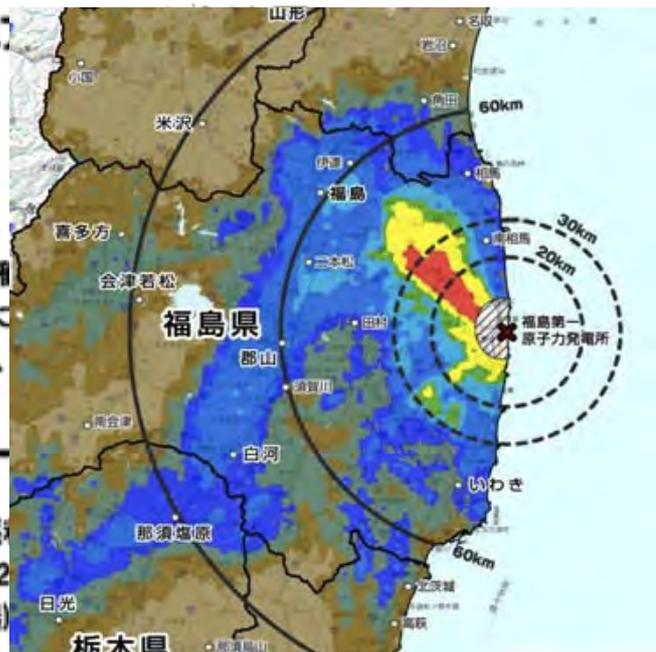
脱原発依存

自然エネルギー

電力市場



# 原子力安全神話の実像



# 世界と日本の反応

ドイツ  
イタリア  
スイス  
スウェーデン

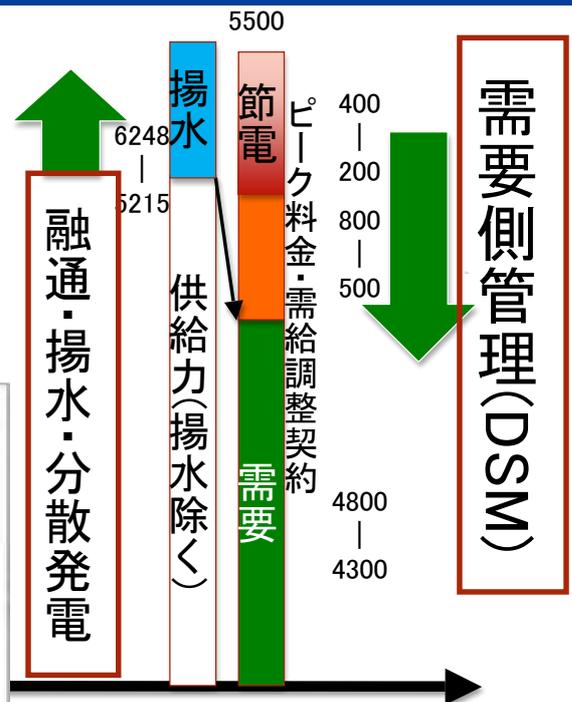
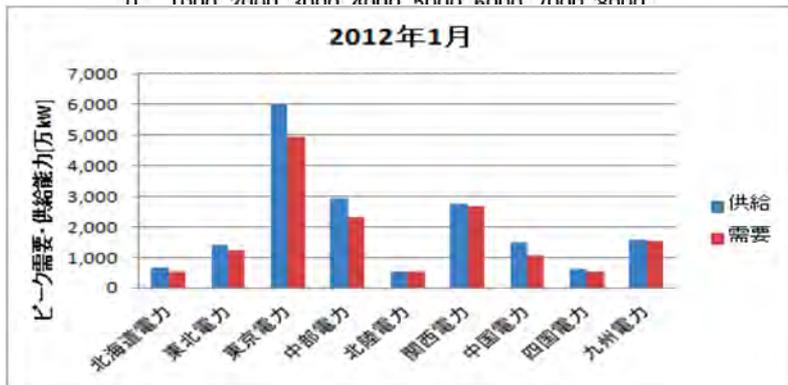
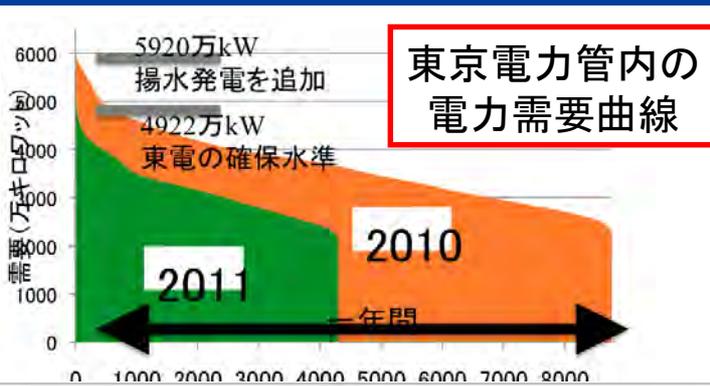
米国  
フランス  
英国  
ロシア  
中国  
インド

:

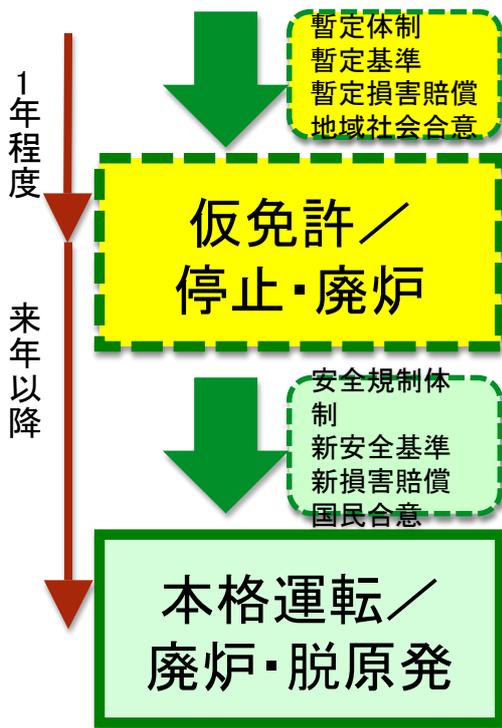
:

そして、日本？

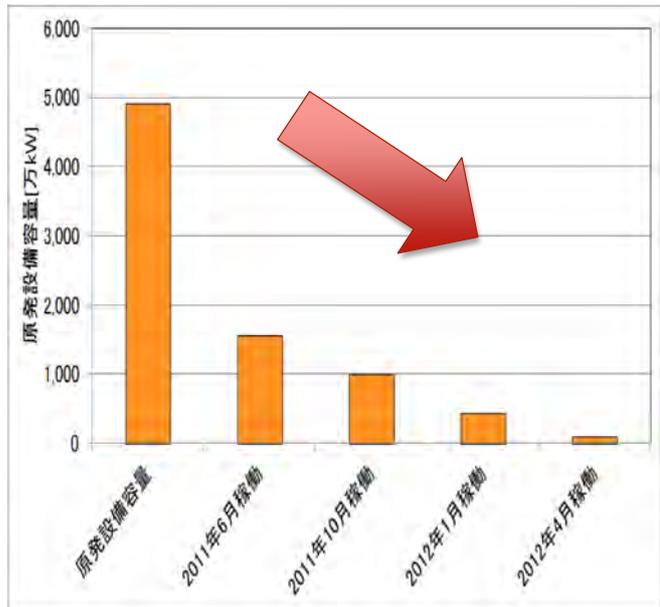
## 需要側管理とピーク対策で短期電力需給は対応



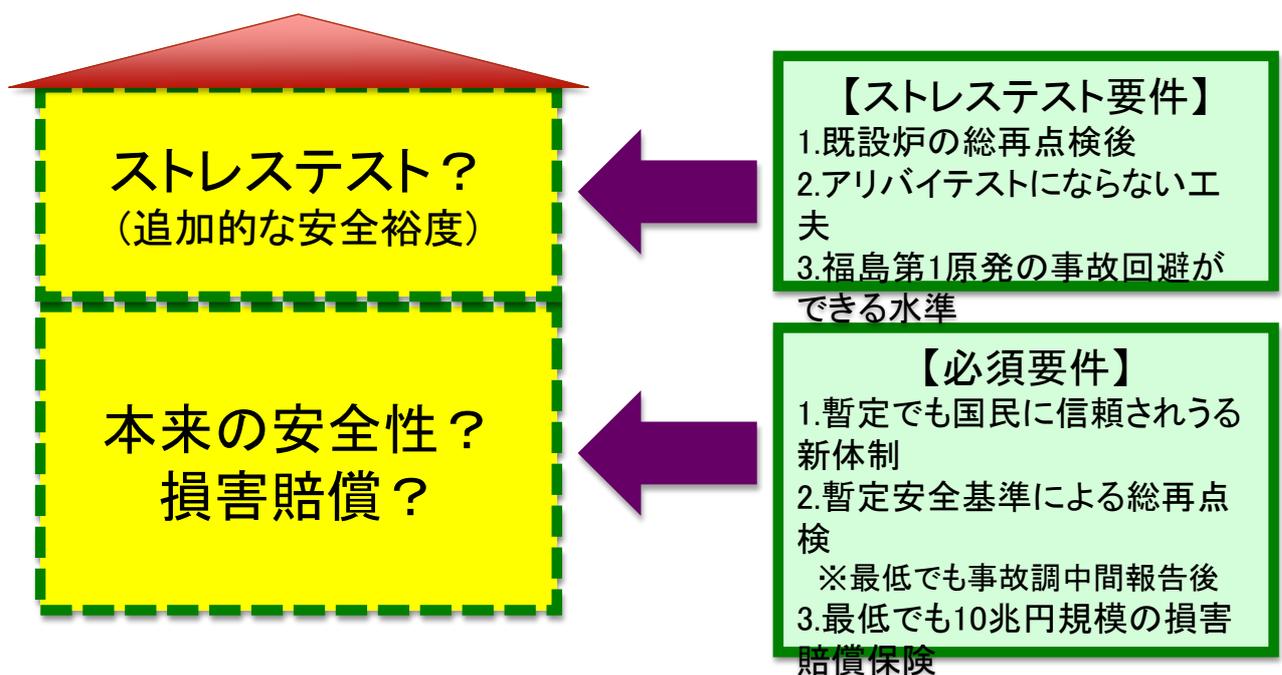
# 原発再稼働への対応



次々に停止する原発



# 再稼働可否の必須要件



Age of the 130 Shut-down Reactors in the World  
as of 1 April 2011



原発の平均寿命は22年

Sources: IAEA-PRIS, MSC, 2011

市場と民主主義で脱原発期限とペースを決める

